

社会参加と社会復帰

ケースを通して考える



事例の検討

- ◆ これから紹介させていただく事例は、現実の患者様の状況を反映していますが、すべて、特定の人物ではなく、架空のケースです。
- ◆ 使用している写真は、マイクロソフト社が無償供与しているもので、実在する人物ではありませんので、あらかじめご了承ください。

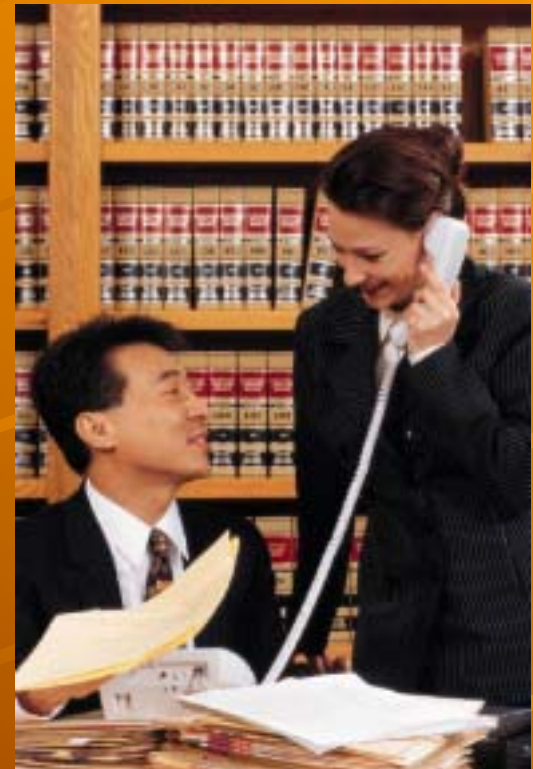
社会復帰への共通点を探してみよう

- ◆ 事例は2つです。
 - うつ病のケースA
 - 統合失調症のケースB



うつ病かかったAさんのケース

- ◆ Aさんは、一部上場企業に勤めるエリートサラリーマンです。32歳、独身生活を謳歌していました。



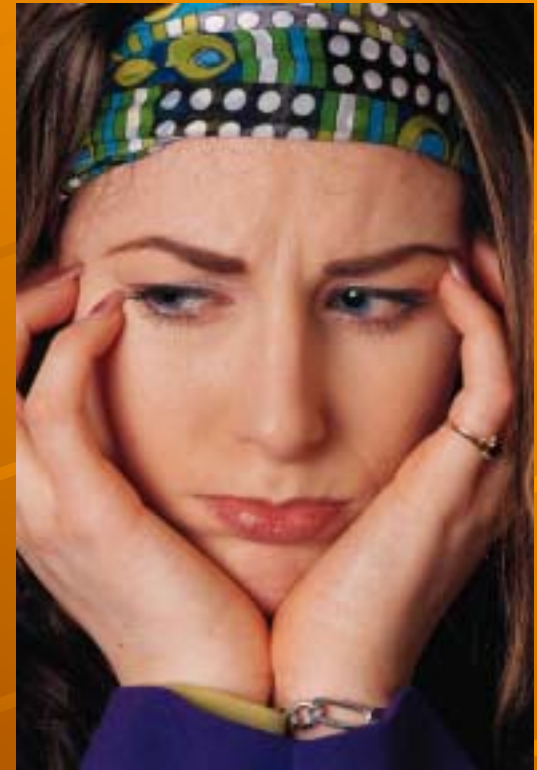
病気になった

念願の課長に昇進した頃から、業務がこなせなくなってきました。



職場の反応

- ◆ そんなAさんを見て、職場ではさまざまな反応が見られました。



職場の対応

- ◆ 職場のメンタルヘルスに関心をもつ職場の上司の一人がAさんの不調に気づき、産業医と相談します。



受診

◆ 職場の上司に連れられて、Aさんはクリニックを受診しました。



治療

🏁 お薬が処方され、治療が開始されました。



療養

✦ うつ病の療養は、安静第一です。



職場復帰をあせらない

- ◆ 「寝てばかりいないで、もう働いたらどうか」などのご家族に責められるため、職場復帰を申し出たAさん。医師にもう一ヶ月待つよう言われました。



回復

◆ 好きなテニスができるようになりました。



職場復帰の裏側

- ◆ Aさんの担当医師と職場の産業医が事前に打ち合わせ、Aさんの職場復帰後のリハビリテーションの計画の草案を作ります。



職場復帰前夜

- ◆ 担当医師から職場復帰の許可をようやくもらったAさん。早速、職場上司に連絡。上司は産業医と相談しました。



職場復帰

- ◆ 念願の職場復帰を果たしたAさん。遅れを取り戻そうとあせらず、ゆっくりと楽しく仕事を進めてくださいね。



統合失調症にかかったBさん

✦ Bさんは、14歳、現在中学2年生です。



病気になった

- ✦ 学校にいても、一人でいることが多くなり、
だんだん、学校に行かなくなりました。



家族の反応



病気になった

- ◆ 「テレビが監視している。学校に行くとみんなが僕のことを知っている」「テレビ局を訴えてくれ」とお父さんに言いました。



不承不承の受診

✦ 父親に連れられてようやく病院を受診しました。



治療

🏠 お薬を処方されました。



療養

✦ 最初は安静にしています。



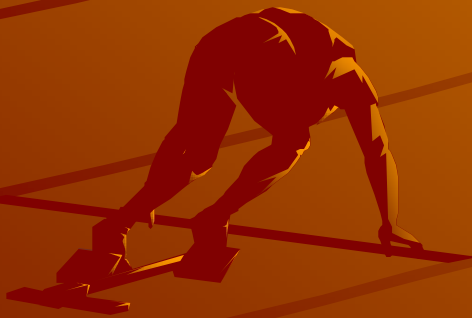
学校への復帰をあせらない

- ◆ 「寝てばかりいないで、勉強したらどうか」など
とご家族に責められるため、復学を申し出た
Aさん。医師にもう一ヶ月待つように言われま
した。



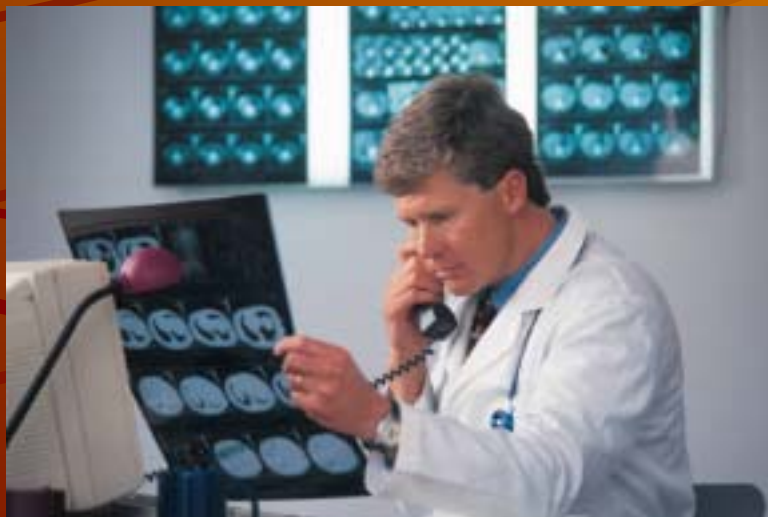
回復

🏆 サーフインができるようになりました。



復学前夜

- ◆ 学校の先生と担当医師が復学前の調整をします。



復学

✦ 元気に学校に行けるようになりました。



ご家族の「こころ」の変化

- ◆ 発病したことに気づかないとき
 - 怒り



- ◆ 安静にしているとき
 - 不安 「寝てばかりいて大丈夫なのか？」



- ◆ 回復し始めたとき
 - 疑惑 「遊べるのに勉強できないなんて」



回復の3段階

- ◆ 治療当初は安静
- ◆ 治療中期は遊べるようになること
- ◆ 職場や学校に行ける

